

様式第2号(第9条関係)

会議録

会議の名称	令和5年度第1回ふじみ野市資料館運営協議会会議			
開催日時	令和5年5月25日(木) 開会時刻 午後4時00分 閉会時刻 午後5時35分			
開催場所	ふじみ野市立上福岡歴史民俗資料館 研修室			
出席した者の氏名 (委員7人中6人出席)	役職名	氏名	役職名	氏名
	委員長	三上 栄一	主幹兼 資料館長	高崎 直成
	副委員長	比嘉 洋子	副主幹兼 管理係長	橋本 鶴人
	委員	宮下 宏樹	主任	関口 正幸
	委員	山本 雅敏	主任	塩田 達也
	委員	中里 美子	主任	横山 真一
	委員	折原 喜美子		
会議の議題	(1) 令和5年度事業予定について ①管理係事業について ②学芸係事業について (2) 資料館の今後について (3) その他			
会議の公開又は非公開の別	公開 非公開			
会議の非公開の理由				
傍聴人の数	0人			
発言の内容	別紙「発言の要旨」のとおり			
会議資料	別添のとおり			
事務局	教育部社会教育課上福岡歴史民俗資料館			
議事の確定	確定年月日	令和5年6月 日		
	記名押印	役職名 委員長 三上 栄一 ㊟		

発 言 の 要 旨

発言者	発言の要旨
司会 (館長)	<p>皆さん、こんにちは。本日、古川委員から欠席の連絡を受けておりますので、出席予定の委員は全員お揃いになりました。定刻前ではございますが、只今から資料館運営協議会を開催させていただきます。本日は公私ともお忙しい中お集りいただきまして、誠にありがとうございます。資料館長を拝命しております高崎と申します。よろしく願いいたします。</p> <p>ふじみ野市では、「ふじみ野市の審議会等の会議の公開に関する規則」に基づき、市民に積極的に情報や会議の公開を進めております。本会議も公開対象となっておりますのでご了承下さい。</p> <p>本日の出席委員は、6名です。</p> <p>ふじみ野市資料館運営協議会規則第5条第2項の規定により、委員の出席が過半数以上の要件を満たしておりますので、会議の成立を認め、只今から令和5年度第1回ふじみ野市資料館運営協議会の会議を開会いたします。</p> <p>なお、本日会議の傍聴者の方はいらっしゃいません。議事に入る前に、本日の配布資料の確認をいたします。</p> <p>(配布資料の説明) (次第及び資料1～4、資料9-1等)</p> <p>それでは、議事進行を委員長にお願いしたいと思います。</p>
三上委員長	<p>皆さん、こんにちは。本日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。いくらコロナの方も下火になってきてうれしいなと思う気持ちでいっぱいです。任期もここでまた折り返しということになりました。去年の前半時には資料館が3か所ぐらいに分かれるという話がありましたが、今回、大井図書館の場所も資料館として利用できること決まったわけで、私としても大変うれしいなと思っております。何をやるにしてもちゃんと地に足を付けて仕事ができれば、いい展示会等もできるのではないかと考えております。人・資料・施設と色々言われておりますが、第一は資料・人が一番大事だということであります。やはりちゃんとした館というか場所があるのも今後の発展のためには必要ではなかつと思うわけです。去年に比べだいぶ明るい話が見えてきましたので、これから委員の皆さんとまた新しい発想をもって、新しい資料館においても色んな意見を伺いたいと思います。新たな資料館の開館まで、およそ3年ぐらいはかかるんじゃないでしょうか。それにおきましても、また皆さんのお力をお借りいたしましていい運営が出来ればと思います。新しい図書館、公民館に関する</p>

	<p>る話題の方も多くなっていると思いますが、私たちの資料館の方も何とか展示や講座に使えるところも設けてあるということですので、これからもみなさん張り切って意見を伺って、よりよい市政のために市民のために資料館のために力をいただきたいと思います。今日はこれだけの議題がありますので、慎重なる審議をお願いしたいと思います。ありがとうございます。</p> <p>それではこれより、議事に入らせていただきます。議事としまして、(1) 令和5年度事業予定について、①管理係事業、②学芸係事業について、ふたつ共通しておりますので、まとめて事務局から説明をお願いします。</p>
橋本副主幹	(資料に基づき説明)
三上委員長	<p>それでは、令和5年度の事業計画について質問がありましたら、委員の方はお願いします。</p> <p>現状では、いつも通りだが大井郷土資料館を除けば、ほとんど現状と同じ形で上福岡の方はやっていけるということですね。</p>
橋本副主幹	上福岡歴史民俗資料館と福岡河岸記念館に関しましては、従来通りですが、移転の関係もごございますので、大井郷土資料館は9月10月と段階を踏んで移転してまたその後になります。
三上委員長	上福岡歴史民俗資料館では屋台があるところに展示物を置く計画になってますね。
橋本副主幹	上福岡歴史民俗資料館の屋台のあるところに大井郷土資料館の展示を移すことに関しては、今つめているところです。旧大井村役場の方も10月にオープンの関係がごございますので、またそれが終わってから展示の変更をやっていきたいと思います。
三上委員長	大井郷土資料館の方は10月いっぱいまで移転し、事業に入れるということですね。あと移動する時に、指定文化財や大事な物があると思うが、業者がやってくれるのですか。
橋本副主幹	こちらの予定といたしましては、大きい物、重たいもの、非常に扱い方が難しいもの、具体的には県の指定の物、扱い方のデリケートな物や大きな物はある程度業者をお願いする必要があるのではないかと思います。
三上委員長	土器なども難しいのでは。

橋本副主幹	指定の土器についてもお願いするようになると思われます。距離が近いといえども安定して運ばないといけませんので、十分注意しながら運ぶ必要があると思います。あとは職員の方で梱包して運ぶという方で、具体的に申し上げますと9月の終わりには改修工事が完成しますので、10月に業者をお願いし、8月9月はその下準備にあてる時間になります。
三上委員長	図書館だけでも10万点ぐらいあるのか。前回の会議では、運ぶのに助っ人を頼むと言っていましたがどうなりましたか。
橋本副主幹	これから募集をかけて、8月から10月の期間に会計年度任用職員をお願いすることになるので、そちらの準備もこれからするようになります。
三上委員長	旧大井村役場の展示も出来上がったら受付係を置くということですが、どうなりましたか。
橋本副主幹	そちらにつきましては、包括管理の中に全て含まれていますので、結果的にはシルバー人材センターになると思われますが、掃除とかの業務も含めて受付を置きます。
折原委員	3年生の社会科体験学習は、どこでやるんでしょうか。
橋本副主幹	今のところ、大井でやっていたところにつきましてはステラ・ウエストの部屋をお借りしてやる予定です。上福岡は今まで通りになります。ステラ・ウエストでの体験学習は、どういう形でできるかというところは調整中であります。まずやるということを前提にしてではどのようにできるかと今検討中であります。
三上委員長	資料を移動しながら、事業をやっていくのは相当大変だと思われれますが、大丈夫ですか。
橋本副主幹	例年ですと6月にやっていた貝殻ストラップ、郷土伝承遊び、大井の藍染めと縄文土器づくりも今回は開催しません。展示の方も最新出土品展は開催しますが平和の展示は上福岡だけということになります。引っ越しの方に集中するというので、なるべく無理ないように留意はしております。
中里委員	子供達の事業が減ると、子供達が寂しがるとおもいます。土器とか藍染めとか大井の資料館で行われるのはけっこうすごい人気があるようですので、上福岡歴民の会場を使って事業を行う事は考えられないのですか。

橋本副主幹	<p>そういった形での展開もあり得ると思うのですが、土器づくり教室等準備などでなかなか大変な部分があります。せっかくのご提案ですが、申し訳ありません。</p>
三上委員長	<p>前回の会議で学校側から、子供達のきっかけづくりという話が出てたと思うんですが、今回これだけなかなか忙しいときっかけづくりは難しいのか、それともまた学校側の方で申し入れがあればその都度対応していくということになるのか。</p>
橋本副主幹	<p>学校側の対応は結果として上福岡の資料館の方で受けることが多い形ですが、それは引き続き対応していくと考えておりますし、あとは駒西小の文化財展示室がかなり形になってきつつあり、並行して引き続き進めますので、それを公開していく中で学校と部屋の使い方等をお話をしながら活用について何かできればよいかなと考えております。</p>
三上委員長	<p>展示室の活用などは校長先生の裁量の管轄なのか、資料館の方でこうやってくださいと指示するのか、今回駒西小の展示室を設置しているけれども、そのあと校長先生が代わると人によりけりで活用も変わることがあるのでしょうか。</p>
宮下委員	<p>私がいる間に2年計画で整備してしまおうと考えています。ここで使えるようになれば子供達にも見せる習慣になるのではと思います。</p>
三上委員長	<p>校長先生もだいたい3年で代わるから、他の校長先生が来ても大丈夫のように資料館の方でもご支援とかしていただければと思います。</p>
宮下委員	<p>資料館の引っ越しの時に資料の選別みたいなことはしないのですか。何回か大井資料館で中身見させてもらいましたが、重複しているものとかあると思います。廃棄するのは忍びないと思いますが、この際まったく同じ物があるのでしたら3つ目以降は捨ててしまうというお考えはありますか。</p>
橋本副主幹	<p>今現在も選別作業を進めております。収蔵スペースが限られていますので、重複している資料等については精査をします。これを機会に資料についてもう一度再確認し、保存しておくことの意味を我々自身がきちんと認識を深めたうえで、学校に展示すれば活用が広がるかと思っておりますので、検討しながら精査を進めているというところです。</p>

宮下委員	ぜひ、目録とかの整備をし、学校で照会する時に社会科の先生や中学の先生が借りやすいようなシステムを作っていただけると資料もいきるかなと思います。
三上委員長	資料の移転中でもなるべく配慮していただいて希望には応えられるようにしていただければいいのではないかと思います。
橋本副主幹	この移転を契機にして色々な資料を記録として残せるように進めており、宮下委員がおっしゃったように目録作りを行い、もっと活用しやすい形で資料を皆さんに情報提供できればと思っています。
三上委員長	中学校側ではどうですか。
山本委員	今宮下委員が素敵なことをおっしゃっていて、中学3年生では第2次世界大戦の授業を行うのですが、私などは経験が浅いので色々なものをソフト化してもらって授業をしています。今の若い教員とかはインターネットで色々な物を購入して熱心に授業に活用している教員が多いんです。しかし、購入する以外にも地域の中にはいろいろな宝があって、平和教育が地元の郷土教育につながったりすると思います。資料館というとハードルが高いと思っている者もいるかもしれませんが、実際はハードルは低くて気兼ねなく子供に見せることができる。見せることで非常にプラスになるということを前回もおっしゃっていたと思います。例えば私などは赤紙などを何とか手に入れて「これだよ」と見せたりしますが、子供達ってやはり実物見ると違いますし、今はすごく平和だなと感じると思います。例えば学校に目録を一部いただけるとか、いただいた目録で借りれますとか、特に若い教員が新しく現場で働いていると思うので資料館の資料が素敵に活用できるのになって思いました。
三上委員長	インターネットでは対応が難しいのか。
橋本副主幹	市のホームページとかネットで将来的に検索エンジンを使ったデータベース化を目指して進めているところです。先生方に実際に資料に触れてみる機会というものを設けていくとけっこうハードルとかいうのが下がってくると思います。まずは先生方が資料館へ来て、資料館にどういったものがあるのか知ってもらえるような機会をもうけながら目録リストの公開を進めていけば効果的に先生たちにも選んでいただけると考えております。

高崎館長	資料の貸出については、資料館ではないですけれども土器や石器など発掘で出てきた物に関しましては貸し出しキットを用意してありますので、文化財保護係に問合せいただければいつでも貸し出しの方はできるようになっております。資料館の方でもいざれそういった形でやっていきたいと思えます。
三上委員長	<p>やはり現物を知らないということは大変なことなので、資料館では現物を見せてもらい、子供たちには先生が自信をもってこれですと言ってもらえればいいんですが。</p> <p>他に質問、意見はありますか。ないようですので、令和5年度事業の承認をしていただきました。</p> <p>続いての議事といたしまして、(2)資料館の今後について事務局から説明をお願いします。</p>
高崎館長	<p>前回、令和5年3月の資料館運営協議会において、大井郷土資料館が暫定的に旧商工会館へ移転し、その間、大井図書館を含めた建物全体を大規模改修し新たな資料館としてリニューアルすることをお伝えいたしました。今回、新たな資料館のコンセプト案を事務局で作成いたしましたので、委員の皆様からご意見を伺いたしたいと思います。</p> <p>まず、大井郷土資料館をリニューアルすることになった経緯をご説明いたします。ステラ・ウエストの整備に伴い、大井図書館、大井郷土資料館の建物を取り壊してステラ・ウエストの駐車場にする予定でした。その間、暫定的に大井郷土資料館を事務所兼収蔵施設として旧商工会館大井支所へ移転する。暫定期間については、上福岡歴史民俗資料館の展示替えを行うとともに、舟運に特化した資料展示は福岡河岸記念館、陸運に特化したものは旧大井村役場を活用し、3館体制で事業を行うほか、ステラ・ウエストや学校展示室をはじめ、他の公共施設や民間施設を活用したアウトリーチ事業を充実し、事業展開を図っていきます。</p> <p>それではその後、市の資料館をどのようにしていくか。昨年度の資料館運営協議会や文化財保護審議会の委員の皆様のご意見でも、展示と学習、事務が同じ場所で行なう事が大事である、分散した展示は避けたいといったご意見もありました。合併してもうすぐ20年、ふじみ野市で生まれ育った人たちも成人する年齢です。今後子どもたちのためにも、一つの場所でふじみ野市の歴史・文化を学べるようにしたい。そのような観点から資料館の今後について検討してまいりました。上福岡歴史民俗資料館では狭隘で老朽化の問題もあります。その他の場所に新設することも検討しましたが、大井郷土資料館・大井図書館の建物は新耐震基準</p>

に適合しており、用途地域としても、第1種低層住居専用地域、こちらは図書館等しか建てられない地域ですが、そこと第1種住居地域、こちらは資料館等も立てられる地域です。この二つの地域にまたがっており、敷地面積に占める第1種住居地域の割合が過半を超えていれば資料館への用途変更可能であることなど、新築と比べた費用などを検討し、最終的に大井図書館・大井郷土資料館の建物をふじみ野市の歴史・文化を総体的に学べる新しい資料館として整備し活用していくことといたしました。

続いて改修のコンセプトのご説明をいたします。1枚目の資料をご覧ください。ふじみ野市の郷土の歴史と文化を総体的に学べる展示として、まず地形の成立ちと環境から説明していきます。地形的特徴である台地と低地、ここから川と道が織りなす歴史始まり、縄文時代から古代、中世と歴史が続く、その発展した形が江戸時代になると片や舟運、片や川越街道となっていく。そして近代化の中で鉄道敷設により物流の大変革が起こり、その結果火工廠が建設される。さらに戦後になって団地と工場が建てられる。最後に合併してふじみ野市ができ、融合と合併、という大きな流れを新しい資料館の展示で表していきたいと思っております。

続いて裏を見ていただきます。資料館の役割は、「郷土の歴史と文化を地域から子供達へ、地域とともに伝える拠点施設」になります。「見て、遊んで、学べる体験学習」であり、展示室はもとより、資料を使った体験学習室、映像体験、さらに収蔵庫を見せる収蔵展示等で資料の保存・活用の拠点とします。また、解説ボランティアや資料館サポーターの育成と活動支援の場として、さらに、文化財の管理・運営の拠点として、ステラ・ウエスト、福岡河岸記念館、旧大井村役場、学校展示室など様々な公共施設や民間施設を活用したアウトリーチ事業を行うための拠点となります。

なお、資料館運営協議会へご意見を伺う前に、大井郷土資料館、上福岡歴史民俗資料館で活動されている団体、上福岡歴史民俗資料館友の会、大井歴史研究会、伝統工芸研究会、古文書の会、ほうきづくり友の会等へは大井郷土資料館が今後改修工事を行い新しい資料館になる旨をご説明させていただいております。以上がコンセプトの説明でございます。展示や体験学習の充実が図れるようにしていきたいと思っておりますが、委員の皆様から具体的なアイデアがございましたらご提案いただければと思います。また、新資料館では本市の総体的な歴史・文化を一館で学べるようになる、この事に関してもご意見を伺いたいと思っております。

三上委員長

コンセプトについてはわかりました。委員の皆さんのご意見・要望・質問はいかがでしょうか。資料館を利用されている団体の

	ご意見はいかがでしょうか？
比嘉委員	この間集まった結果、反対の意見はありませんでした。
折原委員	大井郷土資料館を残すことになって良かったと思います。
中里委員	資料館の事はお伺いしております。皆さん了承ということでした。ただ、はたおり部会として活動の拠点を江戸屋辺りでどうだろうかと話を受けたんですが、もしそれであれば、これからの事も考えると草木染などではガスを使ったりします。今までは火を使った講座を出来なかったので、できるような館にしてもらいたいという要望があります。藍染めについては水場があればいいんですけども、植物をつかった草木染はどうしても火が必要なので、可能であれば火が使えるように、ガスが危ないというのであればIHでもと思っています。はたおり、草木染でなくてその他にもいくつも昔からのおだんご作りとかの講座もできるかなという思いです。
三上委員長	土器を焼くのは外ですね。
高崎館長	富士見市水子貝塚公園です。
中里委員	火を使ったものは上福岡歴史民俗資料館では一切考えられなかった。昔は外でプロパンを借りて講座をやったり、石油缶みたいなもので火を起こして講座をやったりしました。ここ十数年難しくなってきた、火を使ったものは一切できなくなりました。だから、新しい施設（江戸屋のこと）は火が使えるような施設でお願いしたいと思っています。
三上委員長	ただ、消防法があってその辺が館でできるのかどうか難しい。
中里委員	一般の家だったのでガスはひかれているかと思っただけの発言です。昔から食べられているようなだんごのようなものを、講座としてもっていければ一番良いのかなと、そういうのは一切できなかったのです。
三上委員長	今は公民館で調理室があるのだから、そこでできるのではないですか。
中里委員	公民館は公民館で、やはり資料館の事業としてやりたいのです。公民館を借りてでは別の問題だと思います。もちろん、公民館を借りて子ども向けの講座をやったこともあります。ただ、資

高崎館長	<p>料館から公民館を借りるので手間がかかり意味合いが違ってきます。</p> <p>スケジュールについて話をしていなかったのですが、まだ何も決まっておりませんが、大まかな感じとしては設計がだいたい1年ぐらいかかります。更にそれから、改修工事をするのも1年から1年半ぐらいかかります。予算や契約を議会で議決する必要もあります。事務的なものを含めると3年近くはかかります。まずは、設計についての予算をこれから上げていきます。設計は基本設計から始めますのでそこにはコンセプトとか提案を盛り込んで、できるできないをその中で判断していきたいと思います。今日の会議でアイデア等あればお願いしたいですし、また持ち帰られて何かアイデアが浮かびましたら、お知らせいただきたく存じます。それから次の会議の時にご意見を伺ってきたいと思います。</p>
比嘉委員	<p>資料館でやったわけではありませんが、三角小学校でうどん作りがあったんですが、学校から要望があれば資料館でやることは可能なんですか。</p>
橋本副主幹	<p>それは可能だと思います。</p>
三上委員長	<p>前は中学校か小学校で、まんじゅう作りをやっていました。</p>
中里委員	<p>狭山市や入間市の博物館でお茶作りの講座を行っています。</p>
橋本副主幹	<p>直接火を使わなくても、IHを使えばおそらく可能になってくるのではないかと思います。関係各部署と調整確認しながら進めることはできると思います。</p>
三上委員	<p>扱っているのが、文化財だからどうか。火というものは、よっぽど注意して扱っていかないと大変なことになるので。 今度の資料館は今の5倍ぐらいの面積に増えるのですか。</p>
高崎館長	<p>いいえ、床面積が2,000平米で資料館の部分が600平米なので、3倍ぐらいです。</p>
三上委員長	<p>催しをやるのにも、今度は展示がゆったりしてできるのではないかと思います。やはり、ふじみ野市としてもひとつの顔になるのではないのでしょうか。色々テレビなどで地方の紹介を見ても、まず、最初に資料館が出てきてどういう歴史があるのか、そこから始まっています。新しい資料館はふじみ野市としてもなく</p>

	<p>てはならない施設ではないかと思えます。 他にも委員の皆さん良いアイデアをいただきまして、3年後ぐらいになるかもしれませんが、りっぱな事業ができればいいなと思っております。</p>
三上委員長	<p>新しい資料館ができると、上福岡歴史民俗資料館はなくなってしまうのですか。</p>
高崎館長	<p>なにも決まっておりません。</p>
三上委員長	<p>上福岡歴史民俗資料館は古いし地震でもあった時に、文化財を入れておいて大丈夫かと心配ではある。</p>
高崎館長	<p>昭和58年ですので、新基準の耐震にはなっています。</p>
三上委員長	<p>2つの資料館が合体すると同じ資料がものがあるのではないのでしょうか</p>
高崎館長	<p>資料が2つ重なるようなことはないかということですが、重複するものについては今も実際に処分を始めております。例えば、本については、2冊あるものについては処分しております。資料については、微妙に違うことがありますので、慎重に対応していきたいと思えます。ただ、やはり資料を活用していくという点では、使えるもの要するに形がしっかり残っているものと、バラバラになってもうこれはもとに戻せないものがございますので形が崩れてしまったものについては、現在も処分の対象にしています。</p>
三上委員長	<p>新施設になれば、職員としては使いやすくなるし、ふじみ野市にとっても上福岡と大井に2つあるがどっちなんだということがなくなる。ただ、名前はどうかかわりませんが。</p>
高崎館長	<p>もちろん名前は変わります。</p>
三上委員長	<p>博物館ではないのか。</p>
高崎館長	<p>博物館法の登録までにはまだ基準を満たしていないと思えます。</p>
三上委員長	<p>市になったら、博物館を作りなさいというのはなかったですか。</p>

橋本副主幹	博物館になるには、一定以上の基準をクリアしなければなりません。
三上委員長	他にありますか。
中里委員	歴史民俗資料館友の会というものが、この歴史民俗資料館と共に発足して歩んできたんですけれども、その友の会をどうしたらよいかというのがあります。上福岡歴史民俗資料館がなくなることによって友の会も解散かなと思っているんですけれども、新しくできる資料館に引き続いてというのはたぶん無理だと思っているんですけれども、そこらへんをどう考えたらいいかなって悩んでいるところです。
三上委員長	それは資料館側ではなくて、資料館を利用する方の意見ですか。
中里委員	資料館の協力があつての私達、私達の協力があつての資料館なので。
三上委員長	これからも、できればもちつもたれつになるだろうと。
中里委員	そういう形がこれからも取ればいいんですけども、新しくできる資料館ではなくて私達の活動拠点は河岸記念館とか江戸屋とかになるのではないかと思っているんですが、役員さん達とも突き詰めた話はしていませんが、どのように考えたらいいのかなと資料館の方ではどんな風に考えているのかなっていうところをお聞きしたい。
高崎館長	資料館がひとつに統合されるとなると、こちらとしては、そのまま新しくなる資料館で資料館友の会として存続していただければと思っております。中里委員さんが心配されているのは、やはり場所が遠くなってしまうということで、その資料館に通ってそこで活動することができないということがご心配でしょうが、活動の拠点場所が江戸屋とか福田屋になるとしても整備していきますので、そこで活動されているわけですから資料館友の会として存続になると思います。上福岡資料館友の会の上福岡の部分はなくなってしまうかもしれませんが、ふじみ野市資料館友の会としてその活動拠点としては河岸記念館の方であるという形で今後も協力していただきたいと思っております。学校の体験学習であるとか、河岸記念館ではたおり体験学習をやっていますが、今後も資料館友の会での作品展を大井の方でも開催するし、ステラ・イーストとかイオンタウンの会場でもやっていく協力体制は今と

	<p>かわらずにできると思いますので、資料館友の会は存続していただきたいと逆にこちらの方としては願っております。</p>
三上委員長	<p>学校の生徒も狭い所よりやはり広い場所でゆったりとした所できれいに展示されている所の方がより効果があるのではないのでしょうか。生徒達もその方がいいのかなという気がしています。またここはここで、資料館友の会みたいなものができるのではないかとということが考えられるわけですね。</p>
中里委員	<p>大井の方に移転したら今の友の会が母体となって新しい会員を募っていくのではないかと思います。</p>
三上委員長	<p>大井と上福岡が合併したように、資料館も同じようになっていけばいいのですね。</p>
中里委員	<p>幸いにも今まで退職された館長が会員として残ってくれているので色々な講座とかもできるしそういう利点もあるので無下に資料館がなくなるから上福岡歴史民俗資料館友の会をつぶすというのはどうかなって思っています。拠点の場所が変わってしまうと、活動の場も変わってしまうので、活動の内容を考えなくてはいけなくなります。資料館の指導があり、協力を得てやらなければならないので、任意団体とはいえ資料館の協力なしには運営できません。</p>
三上委員長	<p>他に全体的にどうですか。</p>
宮下委員	<p>新しい資料館に移転したならば、学校主体なので子供達が見学できるスペースが取れば、基本は40人が入れる最低限の広さの講義できるスペースは欲しいとおもいます。欲を言えば100人ぐらいなんですけれども。40人はせめて子供が1クラスは入れるような多目的に使えるスペースでいいので欲しいと思います。</p>
山本委員	<p>学級は40単位なので最低そこで、といっても学年単位で動きたいのであれば100人とかですがそのへんはキャパ的に難しいと思いますが、そこで色々なものを見て講義できたり、活動できたり、触れたりしたならば一番子供にとっては幸せな活動なのかなと思います。</p>
三上委員長	<p>他にどうですか。</p>
宮下委員	<p>事務局の方は、設計する前に参考にするようなところに視察に</p>

	は行かないのですか。
高崎館長	委員の皆様でということですか。
宮下校長	いや、事務局です。作る時には、モデルにする資料館みたいな。
高崎館長	個人的には色んな所を見て回っていますので、その中からピックアップしていいところを職員で見回るとかしていかないといけないと思っています。
宮下委員	それらをベースにさせていただけるとうれしいなど。要するにこれを作る時にこの資料館のそれは大変な作業なんですけど写真1枚でもいいのでこの展示をイメージして取り入れたいとか、新しい資料館とかを見てこういうシステムのこういうところの部分をここに盛り込みたいとかオリジナルもありますが、全国様々な工夫をされているところがありますので、そういうところのいいところもふじみ野市に取り入れられるようなのがあれば意見がいいやすいかなと。
高崎館長	一応作ってあるんですが、先に委員の皆様からアイデアがあればということで伺っているところではありました。やはり議論するたたき台がないといけないというのであれば、実際には用意がございまして、次回はそれを使って行いたいと思います。
中里委員	40年前のここの上福岡歴史民俗資料館もまだまだ資料館として全国的に早めに施設としてできた。各地区から見学にいらしゃってました。ここを見学して更に持ち帰っていいものを建てられたということです。ここの館も以前は唯一早々とできた資料館なんです。
三上委員長	大井の図書館を作る時に一番参考になったのは、浦安の図書館が基本になっているのではないかと。見学にも行きましたけれども。図書館だけど、色んな所に行きました。資料館の方ではなかった。いずれにしても、ここで資料館が一つになるのはいいことだと思います。
中里委員	20年たってやっと一つになるのですね。市民文化祭もここでやっと一緒になった。とはいえ、まだまだお互いに違和感があるが何かきっかけがないと難しいんでしょうね。
折原委員	いまだに合併して10年以上経って上福岡と大井に分かれてい

	<p>ますよね。老人会にしても東部西部に分かれています。何をやっても根本的には上福岡と大井に分かれていますよね。</p>
<p>三上委員長</p>	<p>何かここでふじみ野市ならこれが一番誇れるようなものがあるといい。広いスペースでゆったりと展示ができるように、一つの館になってふじみ野市の顔になっていくのはいいことだと思います。</p>
<p>高崎館長</p>	<p>資料館運営協議会の委員の皆様から資料館が一つの館になるのはいいことだとのご意見がありましたので、このことについては文化財保護審議会や社会教育委員会議などでも討議させていただきたいと思います。</p>
<p>三上委員長</p>	<p>それでは（３）その他について事務局からお願いいたします。</p>
<p>高崎館長</p>	<p>大井図書館門扉転倒事故についての御報告をさせていただきます。5月8日に強風が吹いておりましたが、大井図書館の門扉は片側にスライドして収まるような門扉であります。できた当初から2枚の鉄の扉がチェーンとかで結び付かれる状態になっておりました。この日は休館日でありましたけれども2枚のうち1枚が写真のように倒れてしまいました。おそらく風によって倒れたと思われませんが、幸いにも通行人、車両等がございませんで他に被害はなかったんですけれども、一歩間違えれば本当に大けがを、あるいは車であれば破損するような大変なことになるような事態でございました。ですので、こちらについては、今後についてはこのようなことが二度とおきないないようにするために裏の写真をご覧いただきたいのですが、2枚の扉をチェーンと、コンクリートの地面にL型の金具をボルトで付けて固定いたしました。つまり、この扉は動かないようになりまして扉を閉めることもしないようなかたちにいたしました。現在はこちらの出入口については、チェーンをかけまして夜は閉めるというかたちになっております。こちらの事故については、教育委員会の方が学校と他の施設にも注意喚起ということでお知らせしてありますので、学校の方もご存知かと思われませんが、開館が63年ですので35年間よく事故が起きなかつたなど、このようなことが不幸中の幸いといえますか倒れるだけで済んだということでございます。いずれにしても、図書館資料館の管理にしましてはこのようなことが二度と起きないようにこの門扉に限らず他の門でありますとか注意して回って強風でありますとか台風地震も含めてそれに備えていきたいと思っております。</p>
<p>三上委員長</p>	<p>そんな大風がふいたのかな。風でなくてもひっくりかえってし</p>

	<p>まったのか。いたずらにしる風にしろとにかくひっくり返ってしまっただから、けががなくて良かった。</p>
中里委員	<p>強風ではあったけど、風向きによりますね。</p>
高崎館長	<p>強風という意味では、隣にあるケーズデンキができてから、風の通り道が変わったようです。通りを挟んで反対側に憩いの森がございまして木くい虫ナラ枯れによって被害があったのでほぼ木を切ってしまうとそれから風の通りが良くなったのではないかなと。実際、台風の時にはレールからずれたという事実はございましたのでやはり風によって扉がずれることはあったようです。本来ならば倒れることはあってはならない。チェーンの鎖が上の方で留まっていれば外れることはあっても、倒れることはなかったということがありまして、この時にチェーンが下の方にいったのか最初から上の方にいていなかったのかなかなか事実関係の確認がうまくできていないんですけれども、いずれにしてもこれに関しましては二度とこのようなことが起きないように固定していきます。</p>
三上委員長	<p>門扉のチェーンは、夜に分かるようにしてもらった方がいい。ただかけて終わってしまったのでは、車で入って来る人がぶつかってしまうので、そこはピカピカ光るとか何か外から分かるようにしておかないと。車で突っ込んで来るといのが出てくるのでしとかなくてはしょうがない。</p>
三上委員長	<p>その他にその他ありますか。</p>
高崎館長	<p>こちらからの報告は以上です。 ここで、4月からこちらの方に配属になりました職員をご紹介します。</p>
横山主任	<p>(自己紹介)</p>
三上委員長	<p>また新しい発想で、違った目で見てもらえればいいのか。よろしくをお願いします。他に何かありますか。</p>
高崎館長	<p>資料館からは以上です。</p>
三上委員長	<p>他になければ、これで終わりにしたいと思います。それでは、比嘉副委員長お願いします。</p>
比嘉委員	<p>これで令和5年度第1回ふじみ野市資料館運営協議会会議を終</p>

全員	了します。お疲れ様でした。 ありがとうございました。
----	-------------------------------